

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	黒木キャンプ場
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97-1 名称 公益社団法人 津山市観光協会 代表者 会長 竹内 佑宜
(3) 公の施設の所管部署	農林部 農村整備課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用件数	853件	(前年度	818件)
	バンガロー 利用件数	758件	(前年度	702件)
	利用延人数	13,747人	(前年度	13,363人)
(2) 事業の内容	黒木キャンプ場の施設等の利用許可・運営・管理			

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額	18,753千円	(前年度	18,384千円)
	施設利用料金	10,871千円		
	指定管理料	4,989千円		
	自主事業	2,545千円		
	その他	348千円		
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額	18,573千円	(前年度	18,349千円)
	人件費	9,974千円		
	光熱水費	2,071千円		
	修繕・消耗品費等	3,057千円		
	委託料	1,478千円		
	負担金・公租公課	678千円		
	原材料費	318千円		
	備品購入費 その他	997千円		

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	利用者にアンケート用紙を渡して、意見・要望を記入してもらっており、概ね良好な意見であった。 冷蔵庫やエアコンがないことに対する指摘が多くなっており、バンガローが備えておくべき設備が変わってきている。
(2) 指定管理者の自己評価	西日本豪雨の影響でキャンセル等の心配があったが、今年度の施設使用料は予算額より1,071千円増となった。 平成30年度から第2キャンプ場テントサイトの一部を車乗り入れ可とした。第1・第2ともに車乗り入れ可能サイトの利用客が多かった。 木工教室や体験教室等の各種イベントを企画し、黒木キャンプ場の周知・集客を図った。
(3) 市の評価	西日本豪雨の影響もあり7月の利用者は激減したが、それ以外の月の利用者が多く、前年度の利用者数を上回っている。特にテントサイトの利用者数は、協定初年度(平成26年度)の355件に比べると倍以上となっており、大いに評価できる。また、自主事業として実施している第3キャンプ場の冬期利用も数が伸びている。 平成28年度から実施している施設の改修等の整備事業が今年度で終了するため、さらなる集客を目指し、様々な広報媒体を活用した施設のPRや、地域の魅力を活かした自主事業を実施されたい。